

小・中学生用（税って何かな？ ゲーム編） ～Syllabus～

1. 授業の概要

ゲームを通して、税金が平等や公平という観点で集められていることを理解した上で、現在の日本の状況を知り、これからの社会を考える。

2. 到達目標

- 平等と公平の違いを理解し、税の種類が多い理由を知る。
- 現在の日本の財政状態を伝え、関心を持ってもらう。
- 税の仕組みを決定するのは国民であるということを伝え、積極的に社会に参画する主権者意識を醸成する。

3. 構想

段階	学習範囲	学習内容
導入	税理士とは ゲームの準備 ゲームの説明	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士という職業を知ってもらう ・グループ分けをし、生徒が国の名前を決める。 ・必要な金額を伝え、グループワークを開始する。
展開	平等と公平 日本の財政	<ul style="list-style-type: none"> ・税の集め方を考えるなかで、平等と公平の違いを理解する。 ・様々な考えを聞き、考え、生徒に結論を出してもらう。 税金ごとに集め方が違うことを説明する。 ・現在の日本の財政状態を伝え、関心を持ってもらう。
まとめ	社会と税	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの日本の問題を解決するのは主権者であることを説明する。 ・問題を解決していく上で税の役割を考える。 ・日本の民主主義の中で積極的に社会に関わっていく主権者意識をもってもらう。

4. 展開（タイムスケジュール）

項目	内容	時間
〈導入〉 挨拶・自己紹介 税理士の紹介 ゲーム説明	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で挨拶をする。 税務署の人と思われないように、税理士の職業紹介を行う。 グループワークの為にグループ分けをして、リーダーをきめる。 また国の名前も決める。どのようにリーダーを決めたかも確認しておく。（選んだか、じゃんけんか等） 	5分
〈展開〉 平等と公平 日本の財政	<ul style="list-style-type: none"> 必要な金額をどのように集めたらいいかをグループで考えてもらう。 まず同じ条件（所得または収入）の場合に平等に集める方法を説明する。 その後違う条件の場合にできるだけ公平に集める方法を説明する。 間違いは無いことに注意する。 立場が変われば公平も変わることに気づかせる。 また4種類の税金の集め方を説明する ゲームを通して決めてきたプロセスが日本の実際の仕組みと同じであることを伝える。 現状の日本の財政を知ってもらう。 将来に向けてどうすればよくなっていくかを一人ひとり考えるきっかけを作る。 	35分
〈まとめ〉 授業の振り返り 主権者意識	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を振り返る。「平等」や「公平」な税金のために多くの種類があることや使われ方について再度説明する。 18歳になったら選挙権を得ること、一人一人が国のルール決めにかかわっていること、社会の構成員として社会に積極的にかかわり自分で考え意見を持つことを説明する。 一人一人ができることを考えて行動する。 つまり主権者意識を持つことの大切さを伝える。 	5分